



## 五泉市立五泉小学校



学校データ
【学級数】
20学級
【子ども生徒数】
470人
【地域コーディネーターの有無】
有

### 地域の魅力を再発見し、地域とつながる修学旅行

#### 1 はじめに

当校では、教育目標「人間としてたくましく生きる子」のもと、「共創力」（自他の違いを受け止めつつ、対話を通じて、共に課題を解決し、新たな考えを創り出す力）という資質・能力をどの子どもにも育成していくことを目指している。

共創力の育成において、「対話力」と「情報活用力」を高めることが不可欠である。

また、総合的な学習の時間を中核におき、学校と保護者・地域が連携して、「地域を学ぶ 地域で（に）学ぶ 地域と学ぶ」の具現化に努めている。

3年生は「里芋づくり」、4年生では「五泉の水」、5年生では「米作り」において地域の方をゲストティーチャーとして迎え、地域の魅力を学んでいる。

その魅力をさらに探るために、6年生では、本年度の修学旅行を五泉市内に設定し、五泉市の魅力を発見・体験する行程から「対話力」と「情報活用力」を高め、「共創力」を育むことができるように本実践に取り組んだ。

#### 2 取組の実際（6年生）

##### (1) 構想

###### ①地域の魅力を探る

自分たちで修学旅行のコースを選択、決定させることで、主体的に魅力を発見・体験しようとする思いをもたせる。

###### ②地域の魅力をまとめる

修学旅行で発見・体験したことをまとめる活動を通して、地域の方の思いや五泉市の魅力を受け継ぎ、自分自身が五泉市の一員である自覚と誇りをもたせる。

###### ③地域とのつながりを強くする

魅力をまとめ、お世話になった商店街や地域の方に届け、自己の学びや思いを発信する活動を通して、地域とのつながりを強くさせる。

##### (2) 実践

###### ①地域の魅力を探る活動

「五泉市地域おこし協力隊」の方から魅力を探るための方法について学習する場を設定した。子どもたちは「人と関わること」や「実際に体験すること」が魅力を探る方法であることを学び、「修学旅行で地域の方の思いや五泉市の歴史に触れたり、美味しいものを発見したりしよう」という課題を設定した。さらに、「商店街探訪」「古き良きもの探訪」「モノづくり探訪」「美味しいもの探訪」の4つの探訪の視点を明確にした。

班ごとに4つの視点を基に、体験の目的と体験内容を明確にする対話を繰り返し、体験場所や移動時間等を検討して旅行の行程を組み立て



古き良きもの探訪

た。決められた行程ではなく、子どもたちの思いを存分に取り入れた行程となった。子どもたちは、五感を働かせ、体験活動や人々の思いに触れることを通して地域の魅力を探ることができた。



商店街探訪



モノづくり探訪（五泉産ニット）

また、地域おこし協力隊の呼び掛けもあり、地域の婦人会等からボランティアとしてたくさんの方が活動をサポートしてくださった。商店街の方々からも「子どもが来るだけで元気が出る。」「また来てほしい。」などの話をいただいた。地域と学校がつながり、町全体の温かい雰囲気を実感できた2日間となった。

## ②地域の魅力をまとめる

子どもたちは、商店街で働く方の思い、産業に携わる方に受け継がれてきた技術や伝統を目の当たりにした。採れたての果物の味、工場に広がる木の香り、ヤギの毛並みの触り心地など五感で受け止めた魅力をどのようにまとめるかを話し合った。そして、旅行雑誌やグルメ雑誌にちなんだ「GOSHORAN2020」「GOMACHI」「五泉観光いいトコどり」という3種類の魅力紹介カードを作成することになった。ICT機器を活用し、写真と文章を組み合わせ、子どもたちが感じた魅力をまとめた。

## ③地域とのつながりを強くする

お世話になった商店街や企業に魅力を発信する活動では、子どもたちは、発見した魅力を伝え、カードを手渡した。

五泉市の郷土資料館のHPには、

子どもたちの作成したカードが掲載された。自分たちの取組が地域のPRにつながったことや商店街の方から「五泉市内を活気づけてくれてありがとう。」や「五泉のためにしっかり学んでほしい。」という言葉が掛けられたことで、子どもたちは、五泉市の一員として今後、自分にできることは何かを考えていた。



商店街にカードを届ける

修学旅行を単発の活動で終わらせず、思いを発信する機会を設定することで、子どもたちと地域の方のつながりは、これまで以上に強くなった。

## 3 成果と課題

### 及び本実践で育成された資質・能力

地域の方の思いを知り、地域の魅力を体験する活動は、子どもたちの「対話力」の高まりに、収集した情報を整理してまとめ、発信する活動は「情報活用力」の高まりへとつながった。この二つの力を土台とし、子どもたちだけでなく学校、地域・保護者が一体となり、五泉市の魅力を発見し、共有できたことは、当校の目指す「共創力」が高まった姿と言える。

また、地域の方とのつながりが一層強化されたことは、コミュニティスクールの基盤づくりとなる取組でもあった。

## 4 おわりに

自然や産業、水など地域資源に恵まれている五泉市。これらの地域資源を最大限に生かすためにも「地域を学ぶ 地域で（に）学ぶ 地域と学ぶ」を合言葉に学校と保護者・地域が連携し、子どもたちの「共創力」の育成を目指していく。